



空の青と草木の緑が眩しい季節となりました。

GW を終え、新生活に慣れてきた一方で、疲れがドッと出やすい時期です。日中は汗ばむ陽気も増えてきましたので、こまめな水分補給と衣服の調節で体調管理に努めていきましょう。

溶連菌（溶血性レンサ連鎖球菌）

溶連菌という細菌に感染することによって、かぜ症候群と呼ばれる上気道感染症や皮膚の化膿を引き起こす感染症です。再感染することもあります。主に小児に多く見られますが、大人にもみられる為注意が必要です。

★主な症状

- 発熱(38℃以上)
- リンパ節の腫れ
- 倦怠感
- 皮疹
- のどの痛み(のどの奥に白い膿が見られることも)
- 舌の表面に赤いぶつぶつ(いちご舌)
- 時々吐き気を伴うことも
- くしゃみ、咳、鼻水がでにくいのも特徴です。

★潜伏期間・感染経路

潜伏期間は2日～5日で、感染経路は「飛沫感染」「接触感染」ですので、手洗いやうがいの徹底・アルコール消毒に加えて、飛沫感染を予防するためのマスクの着用をすることで感染拡大を予防することができます。

★治療方法

細菌性の感染症であるため、抗菌薬による治療が有効です。

★出席停止の目安

適切な抗菌薬による治療開始後24時間以降、かつ解熱後

★溶連菌の怖いところは合併症です★

肺炎や髄膜炎・敗血症などの重症化や、リュウマチ熱・急性糸球体腎炎・結節性紅斑などの感染症とは異なる合併症がでることもあります。

特に**リュウマチ熱・急性糸球体腎炎**は、溶連菌特有であり注意が必要な合併症です。合併症予防の為には抗菌薬を飲み切ることが大切です！

再診をきちんとしましょう！！

持参する飲食物について

- ★ 食欲がない場合は、うどんやお粥等、喉ごしの良い食べ物をお持ちください。熱がある場合などはゼリーやプリンなどが補食としてであると安心です。
- ★ お弁当はレンジで温めますので、アルミ製のおかずカップの利用はお控えください。



4月にご利用された方の病気

- インフルエンザB型・下痢
- 上気道炎・中耳炎・扁桃炎
- 咽喉炎・アデノウイルス
- HMPV・RSウイルス